

早期再就職を実現し、「再就職手当」を受給するメリット ～4か月後の所得を比較～



例：給付制限… 1 か月

所定給付日数…90日

基本手当日額…5,000円

■ パターンA(早期再就職)

給付手続き後 1 か月で、
月給21万円の仕事に就職した場合

再就職手当(一時金) ¥ 315,000
【5,000円×90日×70%】

給与 ¥ 630,000
【210,000円× 3 か月】

合計 ¥ 945,000

■ パターンB(失業期間4か月)

給付手続き後、支給終了まで
基本手当を受給した場合

基本手当 ¥ 450,000
【5,000円×90日】

合計 ¥ 450,000

←…… 差額 ¥ 495,000 ……→

☆早期再就職で再就職手当を受給した場合、4 か月後のトータル所得が **2倍以上に!!!**

長期の失業期間はデメリットになることがあります

早期再就職のメリット

- 安定した収入
- 所得の増加(裏面参照)
- 社会参加意識の維持
- 働く意欲の維持・向上

採用時に重要視するポイントのアンケート調査によると、
約6割の企業が「意欲・熱意」と回答しています。

早期再就職を目指した積極的な姿勢は、
意欲のアピールにも繋がります。

(反対に、失業期間の空白が長いと、就労意欲や熱意を伝えるのに苦慮することもあります。)

失業期間長期化のデメリット

- 収入面の不安
- 生活リズムが乱れるおそれ
- 面接等で説明に苦慮するおそれ
失業期間が長引くと、選考の際、その期間に何をしていたかを聞かれることがあり、
納得してもらえる明確な説明が必要になります。
- 新しい職場に慣れるのに時間を要するおそれ
失業期間が長くなると、今までの仕事の経験値・スキルが鈍化しがちになります。
また、コミュニケーション能力も低下する場合があります、
職場環境への適応に時間がかかることになります。

▶ できる限りの早期再就職を目指し、
ハローワークを活用して積極的な就職活動を!!

※再就職手当を受けるには支給要件があります。詳しくは給付窓口までお問い合わせください。